

## ◆参加者の感想

<b>自然の音や空気の感覚 (17件)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・気温や湿度、風の体感</li><li>・自然の音や生き物の風景</li><li>・五感で説明しがたい感覚</li></ul>	<b>行き場のない人を排除・受容する空間 (27件)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・排他的な空間</li><li>・心配・気にかかる人と受容する公共空間</li><li>・深夜のにぎわいと野宿の棲み分け</li></ul>	<b>私のまちの環境や活動 (22件)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・まちの明るさ、清潔さ</li><li>・深夜のまちの多様な活動</li><li>・まちの変化と感染症の影響</li></ul>
<b>私のまちストカンという体験 (16件)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・行き場のない人のことを考えて自分のまちを見つめる経験</li><li>・各地で同じ夜に歩く連帯感</li><li>・心配な人として記録する行為への躊躇</li></ul>	<b>「私のまち」の行き場のない人に対する思い (37件)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・衝撃や心の痛み、寄り添う気持ち</li><li>・以前いた人や人数の変化</li><li>・私のまちにたどり着いた背景</li><li>・必要な支援、自分に何ができるか</li><li>・行き場のない人に出会わなかったことに対する考えや疑問</li></ul>	<b>その他 (6件)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・都心部と住宅街における夜のまちや野宿の違い</li></ul>

【図】 参加者の感想 (項目まとめ)

参加者の方に、今夏の「私のまちストカン」に参加した感想をお聞きしました。感想全体を分類し、類似するものを項目として整理しました。

「私のまち」の行き場のない人に対する思いや、行き場のない人を排除・受容する空間について言及する人が多くいました。以下、感想の一部をご紹介します。

### ● 「私のまち」の行き場のない人に対する思い

「普段活動する時間帯や、帰りが遅くなった終電時の駅周辺の様子はよく知っていました。しかし、それより後の時間帯に街を見渡すと、驚くことに見たことのない世界がありました。駅階段の踊り場ど真ん中で寝る方やバス停横のベンチに大きく横たわる人、たくさんの方がいました。」(20代・男性)

「静かな住宅地のアパート隣の小公園に野宿の方がおり、見つけた瞬間はかなりドキリとした感覚があった。家があって普通に暮らしている人達のこんなすぐ傍に、外で寝なくてはならない人がいることがショックだった。」(20代・女性)

「ホームレスでは高齢の人が多くいますが、若い人も一度野宿生活に入ってしまうと、どうやってそこから脱出できるのでしょうか。私たちはどう手をさしのべたらいいのでしょうか。Big Issueの販売者がいれば、買うようにしています。何かすぐにできる援助がないのか、考えさせられました。気になったので、翌日昼間に同じガード下を訪れたところ、そこには荷物だけがありました。」(50代・女性)

### ● 行き場のない人を排除・受容する空間

「注意してみる場所に“歩道橋”があったので、気にしてみると、階段の下に柵があっては入れないようになっている歩道橋もありました。柵の中は草だったので、歩道橋下を困うことで野宿などをできなくする対策なのかなと感じました。」(30代・女性)

### ● 私のまちストカンという体験

「夜道をあちらこちらと目を配りながら歩いていると、結構な疲労感を感じ、見守るという行為には多大な労力が必要と、改めて思い知る。」(40代・男性)

※上記の感想は本人からの掲載許可を得ています。また一部、個人情報に関わる文言や特定の場所に関わる文言は削除しました。